

平成30年度 国語科授業の略案 (学習室1)

月日 (校時)		単元名
10月4日 (木) (3校時)		絵を見てお話を作ろう
本時のねらい (本時 3/5) ○絵をもとに想像しながら、場面のつながりに気を付けて文章を書く。		
評価規準 関 絵から想像したことをもとに進んで物語を作ろうとしている。(観察) 書 場面の様子分かるように、登場人物の行動や会話のつながりを考えて物語を書いている。(ワークシート)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 10:20	○前の時間に学習したことの振り返りをします。 ・前の時間ではお話の書き方のやくそくを考えたり、絵を見て②の場面の吹き出しを考えたりしました。	・前時の振り返りをする。
【展開】 課題把握 10:25 見通し 10:30 自力解決 10:35 全体学習 10:45 まとめ 10:55	1 絵本と見比べ、問題を共有する。 ・絵本は吹き出しがなく、お話は文章で書かれている。 2 課題を確認する。 「お話の書き方のやくそく」を使って②のお話を作ろう。 3 お話を書く時のやくそくを確認する。 ○「お話の書き方のやくそく」は何でしたか。 ・いつ、だれが、どこで、どうした がいます。 ・吹き出しは会話文「 」で書きます。 ・つなぎ言葉を使います。 4 ②のお話を作る。 ○考えた吹き出しの言葉や、「お話の書き方のやくそく」を使って②のお話を自由に作ってみましょう。 5 作ったお話を発表する。 ○どんなお話ができましたか。 ○先生もお話を作りました。自分のお話の書き方と同じかどうか聞いてください。 ・同じ絵なのに、全然違うお話ができていました。 ・うさぎさんが「ありがとう。」と言いました。という部分は同じでした。 ・絵にはないけれど、登場人物の気持ちも想像して文章に書くのはぼくもやってみたいです。 6 やくそくを確認しながら、学習のまとめをする。 お話の書き方のやくそくを使うと、 (分かりやすいお話を作ることができた。)	・吹き出しだけの本(漫画)もあるが、本時は物語を作ることを確認する。 場面 登場人物 会話文 ・学習してきたつなぎ言葉や様子や動きをあらわす言葉を掲示しておく。 関 絵から想像したことをもとに進んで物語を作ろうとしている。(観察) 書 場面の様子分かるように、登場人物の行動や会話のつながりを考えて物語を書いている。(ワークシート) ・教師が作ったお話も紹介し、自分の書き方と比較しながら聞かせる。
【終末】 ふりかえり 11:05	7 学習したことの振り返りをする。 ・お話の書き方のやくそくを使ってできたけど、つなぎ言葉を入れるが難しかったので、次はもっと上手につなぎ言葉を入れたい。登場人物の気持ちも入れてみたい。	・次時は全部のお話を作ることを伝える。